

平成27年(2015年)12月3日(木曜日)

非鉄

(4)

非鉄金属

三芳合金

大型熱処理炉を増設

銅合金の
航空・電極向け拡販

銅合金の鑄造・鍛造品メーカーである三芳合金工業(本社・埼玉県三芳町、社長・萩野茂雄氏)は、今月、大型熱処理炉を1基増設する。現在同社はフル操業。設備投資で納期対応を強化し、航空機向けや溶接電極向けなどで幅広く受注拡大を目指す。年内に導入し、本格稼働は年明けから。同社の大型熱処理炉は増設で5基体制になる。新品の購入で、投資金額は数千万円となっている。

同社が製造する鑄造・鍛造品は品質や特性への要求が厳しいものが多い。現在、熱処理には10時間以上を要するケースや、2段階の実施が

必要で、必要な部材など手間がかかるものが多い。現在、熱処理工程が全体のボトルネックになっている。その解消が課題だった。

広い素材の鍛造品や鑄造品、棒などで用いる。大型材料の処理が可能で、電氣を用いて750度まで加熱することができる。

萩野源次郎取締役は「航空機向けなどが増加した際に、納期対応ができるよう投資を決めた。さらに受注を増やせるよう営業にも力を入れた」と話している。